

市域面積：
1,241.77 km²
人口：
414,102 人
(R3.1時点)

【立地適正化計画】
平成29年3月公表 (都市機能誘導区域)
平成29年3月公表 (居住誘導区域)
【都市再生整備計画(滞在快適性等向上区域)】
令和3年4月公表予定

○ 全市域に渡る公共交通ネットワークなどのコンパクトなまちづくりによる都市アセットを最大限に活用しながら、「新たな日常」に対応した歩きたくなる空間づくりや賑わいの創出の実現とともに、スマートシティの推進による都市の付加価値向上や官民共創による新たなイノベーションの創出を促すことで、持続可能なコンパクトシティの更なる深化を図る。

○スマートシティへの取組み
Society5.0におけるしごとの創生に繋げる。

IoTセンサーを活用するための富山市センサーネットワーク

データの取得・集積

電子申請の普及

オープンデータ化の推進

0空間におけるデータ解析・見える化等

IoTセンサーによる地域課題解決

市の枠を超えた活用

産学官連携・市民協働

データの解析・活用

ビッグデータの活用

情報共有の共有化(ライブラリー共有プラットフォーム等)

自治体保有情報の利用(住民記録等の匿名加工情報)

○産学官民の交流・共創拠点を通じた新たなイノベーションの創出

コワーキングスペース等が併設された産学官民のビジネス交流・共創拠点であるスケッチラボにおいて、若者を中心としたオープンイノベーションを促進し、地域課題解決や新ビジネスを創出。

地域課題

とやま未来共創チーム

未来共創拠点施設

パートナー企業・大学

とやま未来共創チームを通じて未来共創を推進

Sketch Lab

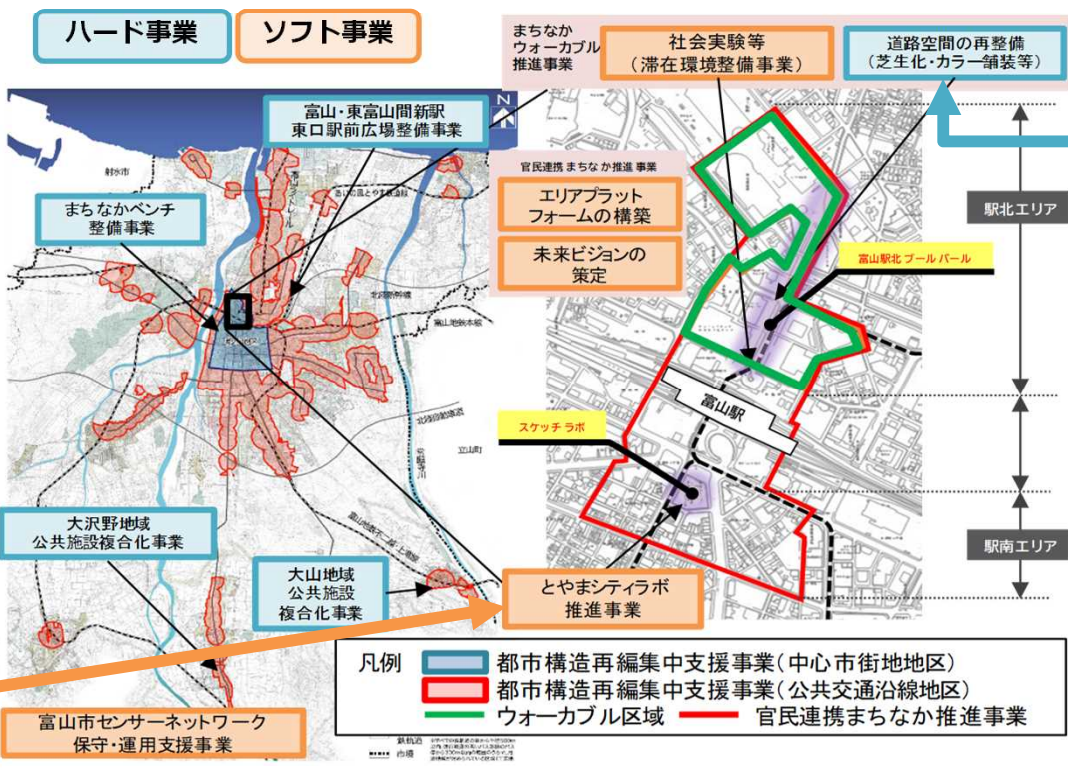
(スケッチラボ)

地域・住民 実践

学生

交流 対話

富山市全域=ラボ(実験室)



○富山駅周辺エリアにおける官民連携まちづくりの推進

市民が日常的に滞留し、歩きたくなる空間づくりや来街者等も含めた中心市街地等への回遊を通じた賑わいの波及を目的に、富山駅周辺エリアにおける未来ビジョンの策定とともに、「富山駅北ブルバール地区(ウォーカブル推進区域)」における街路空間の再整備や社会実験の実施など、官民連携による持続的なエリアマネジメントの実現に向けた取り組み。

▲富山駅北ブルバール地区の再整備イメージ

▲駅前広場の利活用(駅前ナイトフェスタ)

目標設定

居住人口の割合
公共交通が便利な地域に居住する人口の割合を増加基調に
(従前値) 38.8% (令和元年度)
→ (目標値) 40.6% (令和5年度)

路面電車の一日平均乗客数
路面電車の一日平均乗客数を3年後には増加基調に
(従前値) 19,300人/日 (令和元年度)
→ (目標値) 20,500人/日 (令和5年度)

歩行者通行量
中心商業地域の歩行者通行量を令和5年度まで引き続き維持
(従前値) 59,000人 (令和元年度)
→ (目標値) 59,000人 (令和5年度)